

ある町の 天気相談所

Vol.106 2026.10.02



令和8年10月号

9月の降水量と日照時間

9月は雨が降る日が多く、雨を観測した日は30のうち27日とかなり多く、12時の天気が晴れだった日は7日と晴れの日は少なくなりました。月合計降水量は平年の3倍となり、9月の総降水量の多い記録を更新し、年間でも月合計降水量の多い記録を更新しました。また、日照時間が少ない記録でも9月で2位となりました。

月合計降水量多い記録

年間

1位	533.5 ミリ	2026 年 9 月
2位	528.7 ミリ	1961 年 6 月
3位	478.0 ミリ	2004 年 10 月

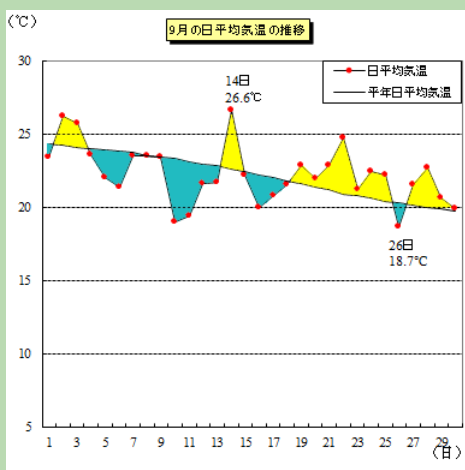
月合計日照時間少ない記録

9月

1位	50.8 時間	1988 年
2位	67.9 時間	2026 年
3位	73.7 時間	2018 年

9月の気候

9月は、秋雨前線が関東付近に停滞しやすく、雨が降った日が多く台風などにより南からの湿った空気が入りやすく前線の活動が活発になる日もあったことで、月合計降水量は533.5ミリと平年の305パーセントとこれまでで最も多くなりました。一方、晴れの日は少なく、日照時間は平年の48パーセントとなりました。気温は前半は平年より低い日が多く、後半は高い日が多くなり、22.2度と平年並みとなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、暖かい空気に覆われやすい予想です。平均気温は「高い」、降水量は「平年並みか少ない」、日照時間は、「多い」となる見込みです。

9月の雨

9月は秋雨前線が本州付近に停滞し、前線が南北に移動することや、台風や低気圧により南からの暖かく湿った空気が入りやすくなることで、大気の状態が不安定となることで、雨が降ることが多くなりました。特に6日から11日にかけてと、20日21日は降水量が多くなりました。

6日からの雨

前線が本州上に停滞し、南からの暖かく湿った空気が入った7日を中心に雨が多くなりました。7日の総降水量は135ミリ、8日は57ミリ、9日は台風第24号から変わった低気圧が進み、63ミリの雨が降りました。

20日からの雨

台風第25号が関東の南を進み、台風北側の関東南部を中心に雨雲がかり続け、総降水量が多くなりました。

日立市では7日はレベル3大雨警報が発表されましたが、全国的にはレベル5の特別警報が4回発表されました。

レベル5土砂災害特別警報

5日 屋久島町 (鹿児島県)

7日 新島村 大島町 利島村 (いずれも東京都)

21日 大島町 (東京都)

レベル5氾濫特別警報

8日 庄内川 名古屋市ほか

天気用語の基礎知識

気象防災速報

顕著な現象を速報的に伝える情報で、警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等の「対応や行動が必要な状況であることを伝える簡潔な情報」を補足するものとして、その根拠を示し解説する速報性の高い情報で、府県毎に発表される。具体的には、線状降水帯関係の「気象防災速報(線状降水帯発生)」、(線状降水帯直前予測)以前の記録的短時間大雨情報の「気象防災速報(短時間大雨)」以前の竜巻注意情報である「気象防災速報(竜巻注意)」、ほかに気象防災速報(短時間大雪)」がある。

・・・神峰の山から・・・

天気予報に使っている予報資料は、数時間おきに定期的に更新されます。日中の時間は確認出来るのですが、夜間は寝ているため、予報資料をみる事ができません。しかし、夜の間に更新される予報資料から急に予報の方向性が変わることもあります。そのため、台風が接近していたり大雨が予想されることが多かった9月は、夜間に起きて予報資料を見たりすることがありました。ほかの月でも行っていますが、この9月はとても多くの日で行っていました。

そのため、寝不足で疲れがとれないということが多いです。